

事業概要：瑞穂町自動運転移動サービス実装事業

継続

申請者	東京都瑞穂町					初回採択回	令和7年度第 2 回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	333,624千円 (105,157千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	自動運転技術の導入により公共交通を再編する。これにより、運転士不足への対応、交通事故の減少（安全性の向上）ダイヤの改善、運行頻度向上等を進め、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成する。地域住民のみならず、通勤・通学者の交通利便性やモノレール延伸部における新たなまちづくりの効果を高め、町の発展に寄与することを目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では、「コミュニティバスの一部として自動運転サービスを導入し、住民の移動利便性や地域の持続可能性を高める。」 自動運転レベル4の定常運行を実現し、モノレール延伸を見据えた公共交通の再編や運転士不足への対応を進める。また、運行頻度の増加等によりサービス水準を高め、公共交通の利便性を改善することで、モノレール延伸を契機とした新たなまちづくりの効果を伸ばすとともに、持続可能な公共交通網を形成する。					 		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・自動運転システム保守・運用費 17,930千円 ・車両調律費 5,071千円 ・運営経費 33,517千円 ・地図作成・更新費 10,120千円 ・L 4 調査費 28,600千円 ・その他（ドライバー人件費、燃料、アンケート調査費等） 9,919千円					 		
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①瑞穂町の人口（▲175人） ②コミュニティバス乗車人数（+7,500人） ③自動車保有台数（▲323人） ④自動車による人身事故件数（▲3人） ⑤乗車後の自動運転サービスへの印象のうち、安心・やや安心の割合（+22%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		令和 8 年7月公表予定